

**「これからの社会に貢献する人間性豊かで品格あるたくましい人」に成長するために
主体的に考え実行し成果を上げる二学期
～人権を尊重する～**

校長 村上 昭夫

○「師走」となりました。

三者面談では、これまでの教育活動における取組の様子やご家庭での様子、成果と課題などを共有し、生徒の資質能力を共に連携しながら高めていく機会といたしたいと考えています。3年生は、進路についての具体的な相談があらうかと思えます。3学年所属教員が中旬には入試相談高等学校へ出向いたり、書類を送付したりと協力して生徒の進路希望の実現に向けて走り回ります。

◆人権を尊重する。いじめは、絶対に許さない。

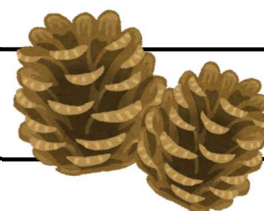
4日から10日までの「人権週間」に合わせ、この機会に、人権を尊重することの重要性を改めて意識し、何ができるか、何をすべきかを考えてまいります。今年、東京都は「誰もが当事者になる、今だから。いまこそ、大切なこと。」をキャッチフレーズに「誰もが違いを認め合い、受け入れあう社会を目指していく」というメッセージを伝えていくと聞いています。今年も、新型コロナウイルス感染症防止の取り組みを続けていますが、「差別」や「偏見」を「思いやり」や「エール」に変えていく心の持ち方が重要だと感じています。

また、「令和元年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」（東京都）結果によると、暴力行為の発生件数は、前年度と比べ中学校で297件減少しています。しかし、いじめの認知件数は前年度と比べ増加しています。同時にいじめ解消率も上昇しているとのことです。

毎年、生徒にも伝えていますが、いじめは、絶対に許しません。生徒の「いじめ」で最も多いのは、『冷やかしいやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる』です。言葉による暴力とも言えると思います。暴力でものごとを解決しようとしたり、暴力で目的を達成しようとしたりすることをみんなが否定していかなければみんなが不幸になってしまいます。あってはならないのは、大人も子供も同じです。学校で言えば、教職員も生徒も同じ、ということです。教職員も自分の指導は適切であるかを振り返り、反省すべきところは反省して、生徒一人一人をよりよく育てていくにはどうすれば良いかを考えてこれからの指導に反映させるよう努力します。「いじめ発見のきっかけ」は、「学校の教職員が発見」したものが一番多いのですが、本人や保護者からの情報によるものも多くあります。私たちも努力していきます。生徒や保護者の皆様からの情報もお寄せいただきたく願います。

○年の瀬となりました。皆様におかれましては新型コロナウイルス感染症防止を始め健康にご留意され、良い年を迎えられますようお祈り申し上げます。

学校でのできごと



ZEKKOCHOプロジェクト ～球根植え付け～

11月26日、ZEKKOCHOプロジェクト第2弾として、球根の植え付けが行われました。当日は師匠としてS.S.I.のみなさんをお迎えし、指導していただきました。たくさんの球根は、春、3年生が卒業するころにはきっと美しく咲きほこることでしょう。

スポーツの秋・食欲の秋 ～勝ち飯®～

オリンピック・パラリンピック教育の一環として、味の素(株)の栄養プログラム「勝ち飯®」を実施しました。講師として味の素(株)東京支社の楠井弘様と磯崎健亮様をお招きしました。講演はリモートで行われ、アスリートの普段の食生活とパフォーマンスの関係についてや、成長過程の自分にとって大切な栄養素について学び、現在の食生活の見直しや今後の栄養バランスを考えた食生活を考える時間となりました。



芸術の秋 ～松林図屏風～

2年美術科の授業の一環として東京国立博物館アウトリーチプログラムを実施。学校の特活室に松林図屏風を広げ、博物館の方による解説とともに鑑賞しました。暗い中で明かりをつけて見る屏風も、自然光で見る屏風もまたとても美しいものでした。

新型コロナウイルス感染症対策へのご協力のお願い

新型コロナウイルスの感染者数がこのところ全国的に増加傾向にあり、東京都内でも多くなっています。先日前お配りしました大田区教育委員会からの通知をもう一度ご確認ください、基本的な感染症対策・毎朝の健康観察・換気や消毒の徹底をお願いします。また、本人はもちろん、同居のご家族の健康状態にもご配慮いただき、何かありましたら学校への連絡をご協力お願いいたします。